

## 卒業後の進路に向けて ～3年生模擬面接、1・2年生進路ガイダンス～

2学期は、卒業後の各自の進路に向けて具体的に動き出す時期です。

就職希望の3年生は、夏休み中に模擬面接を実施しました。また、進学希望の3年生は夏休み中に英語、数学、国語の学習会や看護師養成セミナーに参加して、進路実現に向けて具体的な行動を開始しています。1・2年生は、9月2日のLHRの時間を使って進路ガイダンスを実施しました。

### 3年生模擬面接

8月17日（水）、3年生の就職希望生徒を対象に模擬面接を実施しました。青垣コイズミ照明株式会社の藤様、柏原公共職業安定所の橋本様に外部面接官としてお越しいただき、校内からは、校長、教頭、生徒指導部長、進路指導部長が面接官をしました。



生徒は、一人10分程度の個人面接と、そのあと面接の内容についての事後指導を受けました。面接室への入室、面接、退出など実際の面接場面を想定して行いました。入退室の動作、身だしなみ、座り方や姿勢、声の大きさなどとともに、志望理由、仕事に対する熱意、学校生活について、自分自身の長所など質問事項も多岐に渡りました。

学校生活でこんなことをがんばったという経験について、自分の言葉で語る事ができれば、面接の受け答えの内容が具体的になるとともに、自信を持って堂々とした態度で答えられます。希望する会社についての知識や志望理由も重要です。

いくら事前に答えを想定して準備していても、そのとおりには答えられないものです。自分の意見が、自分の言葉で自然に語る事ができるようになるまで、実際の面接を想定した練習を繰り返しましょう。

### 1・2年生進路ガイダンス

9月2日（金）、進路ガイダンスを実施しました。将来の職業選択について自ら考え、進路実現に向けて必要な情報を収集し、日々の学習に積極的に取り組もうとする態度を育むことが目的です。大学、短大、専門学校の担当者の方に来ていただき、それぞれが希望の職業分野別に小グループに分かれてお話を聞きました。



職業を選択するためには、まずたくさんの職業について知識を持つことが必要です。知っている職業の中からしか選択できません。生徒の知っている職業は限られています。まずは広く職業について理解することが必要です。知っていると思っても、それは単に職業名や会社名を知っているだけで、実際どんな仕事をするのかまで理解していない場合もあります。

職業を理解し、自分自身を理解する中で、自分にはどんな職業が向いているのかを考えて選択していくわけですが、それは簡単なことではありません。おうちの方や担任の先生と相談しながら卒業後の進路を考えましょう。卒業はまだ先ですが、早めに方向を決めることで、進路に向けた学習や準備を早く始めることができます。

（校長 高橋信之）